

ひたまるがゆく

あつい夏の思い出

夏はイベントラッシュで、いろいろなお祭りに招待されました。8月18日はあきない祭りに参加しました。大宮音頭が流れ始めると、ひたまるも元気いっぱいリズムに乗ってお祭りを盛り上げました。しかし、翌日の美和ふるさと祭りではまきもちの時に、暑さと皆さんの熱気で、頭がくらっとしてしまいました。

▶あきない祭り



◀端の方で休憩中

御前山ビオトープ周辺の植物等



イヌショウマ

双子葉離弁花 キンボウゲ科サラシナショウマ属 花期8～9月頃

本州関東から近畿地方の産地、溪側などの樹下に生える多年草。冬には地上部が枯れる日本の固有種です。直上した茎頂に白色の穗状花序を付け、花弁は早くに落ち、雄しべが目立ちます。

サラシナショウマと違い、食用に向かないことから、イヌ（＝否）ショウマと名付けられました。ショウマとは、中国での呼称です。

県北地域が北限の生育地で、県央・県南地域の山地や丘陵地にまれに生育します。

分布地域の一部では土地利用により生活環境が悪化し、個体数が減少しています。

（写真・データ提供 御前山ダム環境センター）

全国標語コンクールで最優秀作品に！

8月6日、全国内水面漁業協同組合連合会主催の第11回全国標語コンクール表彰式が霞が関で開催され、大賀小学校6年（応募当時）の小野瀬優奈さんが小学校高学年及び中学生の部で水産庁長官賞を受賞し、更に最優秀作品となりました。

このコンクールには、全国から2,199作品の応募がありました。



小野瀬さんの作品
森と川 大事なつながり 守ろうよ

広報 常陸大宮 9月 第96号

発行日 平成24年9月25日

発行／常陸大宮市

編集／秘書広聴課

〒319-2292

茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp

URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/

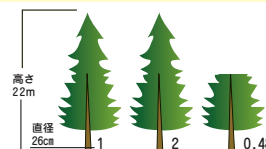


常陸大宮市の人口（9月1日現在・推計常住者）

総人口 44,100人（男 21,620人 女 22,480人）

世帯数 16,113世帯

この印刷物は、常陸大宮市役所が、印刷プロセスで使用する3.41kgのアルミ板をリユースして印刷する事で、CO2排出量を34.65kg削減しました。



34.65kgのCO2削減量とは
樹齢50年(高さ22m・直径26cm)の杉の木約2.48本分が1年間に吸収するCO2量に匹敵します。

（出典：林業白書）

常陸大宮市役所は、MCPによる印刷を通じ、インドネシア・バリ州の森林再生事業(国定公園内の植樹3,000本)に参加しています。